

# 生徒指導部通信

令和4年度第4号

令和4年12月2日

文責 鈴木 猛雄

## Think Different

(幸せの条件：異なる視点を持つこと、物事のとらえ方)

えりも高校から見る夕日は、思わず息をのむほど美しくこの世のものとは思えません。高校でいつも心地良く働いています。思うに生徒の皆さんの良好な人間関係を保つ能力が高いのだと思います。4月の着任の挨拶で皆さんに伝えきれなかったことがあります。人は大変な状況を四苦八苦すると言います。仏教では生まれ、病に苦しみ、老いて、死にます。これらは人生の四つの苦しみです。それらに加えてさらに八つの苦しみがあるそうです。これから春を迎え3年生は卒業の別れが来ます。会者定離<sup>えしやじょうり</sup>、会ったものは必ず別れを迎えます。愛別離苦<sup>あいべつりく</sup>、どんなに愛した人とも別れが来ます。逆に考えると嫌なことからも離れられるということでもあります。人生の定めは変えられなくてともとらえ方は変えられます。皆さん幸せになってほしいです。そのためには学ぶことの大切さを言いました。人生は良いことや悪いことの連続です。ただ悪いことも発想の転換で良くもできます。知恵を絞れば乗り越えることができます。物事を楽観的に捉えることができるために脳を鍛えるのです。学びの効果です。

私はスティーブ・ジョブズが好きです。彼がもたらしたコンピュータ社会の功績は多大なものです。世界とのコミュニケーションの距離はかなり接近したものとなりました。AI社会の到来です。AIが人の仕事を奪うという発想は、昔からありオートメーション社会でチャップリンの映画でも描かれていました。インフォメーションを日本語では情報と表現します。情けに報いるという漢字で書くことに興味を感じていました。情けとは感情で心です。人間がAIに勝るものは感情です。この能力を発揮することを意識していれば我々人間の活躍できる仕事はここ当分なくならないでしょう。そこにフォーカスしていれば仕事は確保されます。仕事に探されるような人になることが大切で、1年生から意識して学び思考することが大切です。

模試やさまざままことに挑戦してほしいのです。挑戦は達成されなくともその過程で何かを学べます。目標をゲットしようとする努力があなたに耐性を与えます。目標が何であるべきか問題ではなく、それに向かって自己を高めることができればいいのです。教育は日々進化しています。ITリテラシー（リテラシーとは本来識字率ですが知識、スキルです）の向上、金融リテラシーの向上です。確かに経済が立ちいかなくなれば学びもできないし最悪の場合は戦争につながります。戦争は人間がやってはいけない最大の悪です（半藤氏）。我々人間は言語を使います。この言語を駆使して問題解決をすべきです。

年を重ねると人生は経済的豊かさが1番の目的ではなく、やりたいことをとことんやることだと気づき始めました。まだやりたいことを見つけていない人は学んで、人と話して、自分を知って自分の使命は何かを考えてほしいと思います。

自然あふれるえりもに生まれて、自然再生のプロジェクトを成功させた先人がいたこの地で、私は皆さんにこの地から世界に飛び立つ人間になってほしいと思います。時間は限られています。

さあ世界に雄飛しましょう。幸運を祈ります。この高校の教師集団はあなた達一人一人のために全力投球します。そこに愛はあるのか？

はい！愛があふれています。あとはあなた達です。

今年も残りわずかです。中身の濃い日々を過ごしてください。

